

平成 30 年度農林水産省

「植物品種等海外流出防止総合対策事業

（東アジア植物品種保護フォーラムの運営）」

平成 30 年度

植物品種等海外流出防止総合対策事業  
（東アジア植物品種保護フォーラムの  
運営）

報告書

平成 31 年 3 月

公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会（JATAFF）

## 目次

### 平成 30 年度植物品種等海外流出防止総合対策事業(東アジア植物品種保護フォーラムの運営)報告

1. はじめに	1
2. 事業の背景及び目的	1
3. 各国の PVP 制度整備・運用状況概要	1
4. 委託事業の実施方針	3
5. 事業の経過及び結果	4

#### 【別紙】

##### (1) EAPVP フォーラム第 11 回本会合の開催(フィリピン 2018 年 8 月)

① 日程	9
② 参加者	10
③ 報告概要	11
④ UPOV 条約に基づく植物品種保護の国際セミナー報告	12
⑤ 採択された東アジア植物品種保護フォーラム実施規則	15
⑥ 採択された東アジア植物品種保護フォーラム 10 年戦略	17
⑦ 採択された協力活動案	21
⑧ 採択された地域協力活動案	
ベトナムにおけるパイロットプロジェクト	23
⑨ 写真	27

##### (2) 10 年戦略及び各国個別戦略に沿った協力活動の推進

###### ① 各国個別活動

###### ア インドネシアにおけるバレイショの栽培試験研修(2018 年 7 月)

###### (平成 29 年度第 10 回本会合採択分)

(a) 日程	29
(b) 参加者	31
(c) 報告概要	32
(d) 写真	32

###### イ マレーシアにおけるリーガルコンサルテーション(2018 年 8 月)

(a) 日程	33
(b) 参加者	35
(c) 内容	36

###### ウ ラオスにおける意識啓発セミナー(2018 年 12 月)

(a) 日程	37
--------	----

(b) 参加者	38
(c) 報告概要	39
(d) 写真	39
エ ミャンマーにおけるデータベース構築ワークショップ (2019 年 1 月)	
(a) 日程	41
(b) 参加者	43
(c) 報告概要	44
(d) 写真	44
② 地域協力活動	
ア 第 1 回東アジア植物品種保護フォーラム地域協力活動パイロットプロジェクト 会合報告 (2018 年 10 月／ベトナム)	45
イ 第 2 回東アジア植物品種保護フォーラム地域協力活動パイロットプロジェクト 会合報告 (2019 年 2 月／ベトナム)	49
(3) ホームページの管理	53
(4) 検討委員会の設置と運営	
① 検討委員会委員名簿	57
② 検討委員会開催概要	59

## 平成 30 年度植物品種等海外流出防止総合対策委託事業 (東アジア植物品種保護フォーラムの運営) 報告書

### 1. はじめに

本報告書は、農林水産省が行った公募による委託事業「平成 30 年度植物品種等海外流出防止総合対策委託事業（東アジア植物品種保護フォーラムの運営）」を（公社）農林水産・食品産業技術振興協会が受託して実施した事業の経過及び結果をまとめたものである。

### 2. 事業の背景及び目的

農林水産省は、平成 20 年度以降、日本、ASEAN 諸国、中国及び韓国（以下「構成国」という。）から成る「東アジア植物品種保護フォーラム」（以下「フォーラム」という。）の下、各国における植物品種保護（Plant Variety Protection 以下「PVP」という。）制度の整備・充実を促進するための人材育成や意識啓発等の協力活動を行ってきた。この結果、2017 年 10 月 26 日にジュネーブ（スイス）で開催された UPOV 第 51 回理事会において、ブルネイとミャンマーの植物品種保護法について、植物の新品種の保護に関する国際条約（UPOV 条約）との適合性が認められなど、各国における取組の成果が現れてきたところである。両国は、今後、それぞれの国で国内手続及び条約批准書の寄託がされれば、正式な UPOV 加盟国となる。

しかし、依然として PVP 制度の運営が行われていない国、運営は行われているが、植物新品種保護国際条約への準拠が十分でなく、当該国際条約への加盟を果たしていない国が残されている。また、PVP 制度の運用が国相互で必ずしも十分に調和しておらず、効率的に植物品種の審査が行われていない。

こうした状況の下、今後 10 年のフォーラム活動を戦略的に展開すべく、第 11 回フォーラム本会合において、①各国による UPOV 条約に即した PVP 制度の強化及び②出願・審査手順の地域調和メカニズムの構築、を共通方針とする「10 年戦略」が採択された。

このため、我が国で育成された新品種が東アジア各国で適切に保護されるための環境整備を行うことを目的とし、これまでに培われてきた機運をさらに醸成しつつフォーラムを戦略的に展開する。具体的には、各国の技術面、政策面の障害や政策決定のメカニズムを包括的に調査した上で PVP 制度の整備と相互調和に向けて有効かつ効率的であり、かつ、我が国の政策とも整合的な相互の協力活動を推進する。

### 3. 各国の PVP 制度整備・運用状況概要

#### (1) 加盟国における動き

ベトナムは、UPOV 加盟から 10 年経ち、2016 年 12 月 24 日に、保護の対象植物を、116 種類から、全ての種類に拡大した。

韓国は、UPOV 加盟から 10 年の 2012 年 1 月に保護の対象をすべての種類に拡大し、2013 年に法律を改正し、担当組織も再編し、ソウル近郊の安養（アニョン）から、韓国中部の慶尚北道金泉（キムチョン）に移転した。法律は、従来の種苗産業法から種子法部分を分離し、植物新品種保護法として、独立させた。韓国は法第 57 条第 2 項により、自家増殖に育成者権は及ばないこととしているが、現在その範囲を制限する（自家増殖を禁止する種類を指定する）ことを検討している。

中国は、2016 年度に審査期間の短縮を図り、登録品種数を大幅に伸ばした。また、農

業部及び林業局とも代理人の指定を廃止し、自由化した。さらに、2017年4月1日からは、出願費、登録費等品種保護に係るすべての官費が免除されるようになった。保護対象植物の数は順次拡大しており、EU等との審査協力を開始するとともに、1991年条約への加入の検討を始めているが、保護水準を1991年条約に合わせることは可能であるものの、1991年条約加入そのものは政治的には困難な模様である。2019年2月に53種類の植物を保護対象リストに追加した。

(2) 品種保護制度を運用している国で UPOV への加盟準備を開始している国

マレーシアは、2004年に「植物新品種保護法」を制定し、2007年に施行し、2008年から品種保護制度を運用していたが、「農家、地域コミュニティもしくは原住民が育成し又は発見かつ完成させた植物品種」の保護制度の規定が含まれているなど、UPOV条約との整合性がとれていないため、UPOVに加盟できない状況にあった。一方で、TPPに加入するため、2015年12月からUPOVの法律相談システムを活用しつつ、現在1991年条約に合わせて法律を改正中であり、上記の規定も切り離して別の法律（生物多様性条約の国内法）にする方針とのことである。また、2016年には全国4か所に栽培試験センターを設置し、自前の栽培試験を開始した。従来は、他国で実施された審査報告書を購入することによる審査協力と育成者のは場で栽培試験を実施する現地調査方式で審査を実施していたが、本フォーラムの協力活動等を通じて、審査技術等の向上が図られた成果と考えられる。

(3) 法令を整備中の国

ブルネイでは、2015年4月13日に1991年条約に沿って「植物品種保護令」が作成された。まだ、制度の運用は行われておらず、現在、DUS審査体制の整備が進められている。2016年1月25日に「植物品種保護令」の改正が行われ、2017年のUPOV理事会においてUPOV条約との適合性が認められた。UPOV加盟のために残された手続きは、加入書をUPOVに寄託することが残されるのみであり、当初は2018年前半を目指していたが、内閣改造の影響で遅れ、その後2019年3月末を目指したが、現時点では2020年始め頃まで遅れる可能性がある。必要な国内手続きとしては、検事総局（Attorney General Chamber）の了解の後、大臣が国王陛下に承認をうかがい、署名をもらうことになる。

カンボジアでは、2008年5月20日に植物の新品種の保護に関するUPOVモデル法に準拠した「種子管理及び植物育成者権法」が作成された。現在UPOVの法律相談システムを活用している。まだ、規則は作成されておらず、DUS審査体制についても検討中で、制度の運用は行われていない。

ラオスでは、2011年12月20日に特許法が改正され、第4章にUPOVのモデル法に準拠した「植物新品種」の規定が追加された。しかし、まだ、特許法の植物新品種関連規則は制定されておらず、DUS審査体制についても検討中で、制度の運用は行われていない。今後のステップについて、UPOVと協議中である。2018年12月にUPOV条約に基づく植物品種保護の国内啓発セミナーが開催され、PVPの重要性を認識するとともに、UPOVについてさらに理解を深めたいという意向が示された。

ミャンマーは2016年1月20日に制定した「植物新品種保護法」を改正し、2017年のUPOV理事会において、UPOV条約との適合性が認められたところである。2019年

1月に主要作物の標準品種データベース構築ワークショップが開催され、標準品種設定等について研修が行われた。今後、最初の国内審査基準としてイネの金純を作成する考えである。

(4) UPOV 条約と整合しない国内法による制度運用が行われている国

インドネシア、フィリピン及びタイは、独自の品種保護制度を運用しており、当面法律改正の動きはない。インドネシアでは関係者の間では UPOV 加盟の意向はあるが、国会対応等の面で政治的に困難とのことである。フィリピンでは第 11 回フォーラム本会合の際に UPOV 加盟に向けての積極的な姿勢が示されたが、具体的な対応には至っていない。タイでは 2019 年 1 月、商務省が農業局（DOA）と共同で、TPP11 や UPOV 加盟に反対している全国農業者評議会（National Farmers Council）の代表を連れて、ベトナムを訪問し、UPOV 加盟後のベトナム農業の現状を直接見せる機会を設けた。また、2018 年 12 月に PVP 課長が講師を務め、UPOV 事務局作成のタイ語字幕「つや姫」ビデオクリップも教材として活用して、TPP11 の交渉官を含めた UPOV 制度に関するセミナーを開催した。2019 年に総選挙があり、省内として大きな決定はできる状況ではなく、DOA 幹部の異動で、3 つある局次長（DDG）ポストのうち一つしか決まっておらず、PVP を担当する DDG も決まっていない状況である。しかしながら、本事業によるセミナー等の開催を通じて、これらの国々においても、PVP 関係者のみならず種苗会社や育成者の意識は高まってきている。

#### 4. 委託事業の実施方針

(1) 東アジア植物品種保護（EAPVP）フォーラム第 11 回本会合等の開催

ホスト国（フィリピン）と協力し、また、担当職員と協議の上、「東アジア植物品種保護フォーラム第 11 回本会合」のスケジュール及び内容を固め、ホスト国と協力して一連の会合を開催する。また、実施に当たってはホスト国と調整の上、各国との連絡調整等のサポートを行う。

さらに、UPOV、UPOV 加盟国・地域及び種苗関係国際機関等と協力し、UPOV 条約に基づく多様な選択肢や解決策の提案を行うなど、効果的な事業実施に努める。

(2) UPOV 条約に沿った PVP 制度の運営に向けた協力活動の推進

第 10 回本会合で提案された 10 年計画を踏まえ、各国から出された提案及び（1）のフォーラム本会合での審議結果を考慮しつつ、担当職員及び各協力活動の提案国等と協議し、UPOV、UPOV 加盟国等とも協力して実施する。具体的には、UPOV 加盟に向けた政策決定者の意識啓発のためのセミナー、ワークショップ、シンポジウムの開催、審査技術に関する研修、その他、本事業の趣旨に合致し、（1）のフォーラム本会合で合意された協力活動について支援を行う。

なお、協力活動の効果的な実施のために、各国の PVP 制度に関する基本情報や課題の調査を、文献調査や現地での聴き取り調査等により実施し、必要な情報を整理することとする。

(3) ホームページの運営管理

ホームページの運営管理については、収集した情報を整理し、迅速な情報提供を行う。

また、各国の担当窓口等に関する情報を最新版に更新し、各国の最新の PVP 関連情報を収集し、ホームページに掲載するなど、フォーラム構成国の要望を踏まえつつ、掲載情報の更なる充実を図る。

#### (4) 検討委員会の開催

事業目的に照らし、フォーラムを戦略的に展開するため、知的財産権法や育種分野の専門家を含む 6 名の国内有識者で構成される検討委員会を設置し、事業内容を踏まえ、戦略的な実施方針案を作成する。また、事業結果のとりまとめを行う。検討委員会は 3 回開催し、合意事項を記録した結果概要を作成する。

### 5. 事業の経過及び結果

#### (1) EAPVP フォーラム第 11 回本会合の開催

2018 年 8 月 1 日にフィリピン国ムンティニルパ市のヴィヴェーレ・ホテル・アンド・リゾートにおいて、東アジア植物品種保護フォーラムメンバー国 12 か国の代表、ゲストとして UPOV、CPVO、GNIS、Naktuinbouw 等が参加して EAPVP フォーラム第 11 回本会合が開催された。本年度の協力活動の実施については、各国担当者とメールにより協議し、実施時期を逸しないように事前に調整した。

会合では、UPOV の最近の状況について報告、東アジア植物品種保護フォーラム運営規則及び 10 年戦略の採択、各国からの 10 年戦略及び個別戦略の発表と本年度の協力活動の要請が出された。

実施規則及び 10 年戦略は、第 10 回本会合にて策定することが採択され、2017 年 12 月に実施規則案、10 年戦略案をフォーラムメンバー各国に周知し、約 8 ヶ月間、メール等で意見を求めた後、本会合にて提案され、採択された。但し、中国及び韓国より 6 か月以内にコメントを受け付け、修正がある場合は全フォーラムメンバーに修正箇所を周知、議論し、合意の上で修正されることとなった。1 月末に中国及び韓国より実施規則並びに 10 年戦略の修正案を受領、各国にその案を周知し意見を求めた。2019 年 3 月現在、中国・韓国の修正案に対する農林水産省の対応案をフォーラムメンバー国に周知し、意見を求めている。

採択された実施規則に沿って各国からの協力活動要請を検討した結果、本年度の要請案件は、全て採択された。また、次年度の第 12 回フォーラム本会合は、中国で開催されることが決定された。

本会合の翌日、UPOV 条約にもとづく植物品種保護の国際セミナーが開催された。

#### (2) UPOV 条約に沿った PVP 制度の運営に向けた協力活動の推進

##### ①各国個別活動

##### ア インドネシア バレイショ DUS テスト研修

2018 年 7 月 24 日（火）～27 日（金）に、農業省 Manoko 試験場（インドネシア、レンバン）において、バレイショ DUS テスト研修が実施された。これは、第 10 回本会合にて採択された案件である。研修には、Manoko 試験場及びその他の試験場より試験官 14 名、技術スタッフ 16 名 合計 30 名が出席し、講師は、オランダ Naktuinbouw の費用負担により、Naktuinbouw のバレイショ専門家が務めた。

#### イ マレーシア リーガルコンサルテーション

2018年8月15日(水)～17日(金)に、マレーシア国セランゴール州バンギの Hotel Tenera において、リーガルコンサルテーションが行われた。コンサルテーションには、マレーシア側から法律起草チーム9名、農業・農業関連産業省等関係省庁から9名、事務局15名など33名、UPOVからMr. Peter Button 事務局次長、Ms. Yolanda Huerta リーガルアドバイザーが出席した。内容は、マレーシアの Protection of New Plant Varieties Act 2004 (ACT 634) の改正についてのコンサルテーション、協議、改正の準備であり、マレーシア農業局 Deputy Director の Sri Ikarostika 氏より、コンサルテーションは大変うまくいき、マレーシアの法律は UPOV91 年条約と調和させることができるとの報告があった。

#### ウ ラオス UPOV 条約にもとづく植物品種保護の国内啓発セミナー

平成30年12月19日(水)～20日(木)に、ラオス国ビエンチャンのビエンチャンプラザホテルにおいて、UPOV 条約にもとづく植物品種保護の国内啓発セミナーが開催された。セミナーには、ラオス関連省庁、研究所、農業団体、関連団体の代表者合計34名が出席し、講師はUPOV、農林水産省、ベトナム農業農村開発省、ミャンマー農業畜産灌漑省、ラオス農業省、ラオス科学技術省、ラオス国立農林農村開発研究所の専門家が務めた。

#### エ ミャンマー 主要作物の標準品種データベース構築ワークショップ

2019年1月22日(火)～24日(木)に、ミャンマー国ネピドーの農業畜産灌漑省農業研究局において、主要作物の標準品種データベース構築ワークショップが開催された。ワークショップには、農業局、農業研究局の研究官、技術官等合計14名が出席し、講師は、水野忠雄東アジア植物品種保護フォーラム検討委員会委員、今村講平稲苗管理センター主任研究員、Ms. Nguyen Thi Mai Ha (ベトナム国立植物試験センター) が務めた。

### ②地域協力活動

#### ア 第1回東アジア植物品種保護フォーラム地域協力活動パイロットプロジェクト会合

2018年10月11日(木)8:00-18:00に、ベトナム国ハノイの農業農村開発省において、第1回東アジア植物品種保護フォーラム地域協力活動パイロットプロジェクト会合が開催された。会合には、ベトナムから農業農村開発省ミン課長外3名、UPOV 事務局からバトン次長、本村担当官、日本から米野農林水産省知的財産課知的財産情報分析官、鈴木課長補佐、マレーシアから PVP 国際担当、審査官、ミャンマーから農業研究局次長審査官が出席した。会合では、①パイロットプロジェクトが目指す EAPVP 地域メカニズムの姿、②地域メカニズムの前提条件について議論が行われ、次回会議は、2019年2月27・28日にベトナム農業農村開発省において開催されることとされた。

#### イ 第2回東アジア植物品種保護フォーラム地域協力活動パイロットプロジェクト会合

2019年2月26、27日に、ベトナム国ブンタウ市のベトナム農業農村開発省南部 DUS 試験センター会議室において、第2回東アジア植物品種保護フォーラム地域協力活動パイロットプロジェクト会合が開催された。会合には、日本から尾崎農林水産省知的財産課長、米野知的財産情報分析官、鈴木課長補佐、大崎次席審査官、ベトナムからミン農業農村開発省課長外4名、マレーシアからイカロスティカ筆頭補佐外1名、ミャンマーからウー農業研究局次長外1名、UPOV 事務局からピーター・バトン次長、本村担当官が出席した。

第 2 回会合では、第 1 回会合で描かれた地域メカニズムの構築に向け、①地域メカニズムの方針、②出願先国の設定（一斉出願か選択出願）、③地域メカニズムが提供するサービス（事務局機能）、④地域メカニズムの利用料と徴収方法、⑤地域メカニズムの出願フォーム、⑥地域メカニズムの Technical Questionnaire (TQ: 植物毎)、⑦DUS 協力、⑧地域メカニズムにおける名称、新規性の審査の可能性について議論が行われ、次回会議は 2019 年 9 月上旬をめどに開催されることとされた。

(3) ホームページの管理（別紙(3) 参照）

本会合資料の掲載および本会合にて採択された 10 年戦略及び実施規則に基づいた内容への改訂を行った。また、業者に依頼せずにウェブサイトの更新を可能にするため CMS の導入を行なった。

(4) 検討委員会の設置と運営

事業目的に照らし、フォーラムを戦略的に展開するため、6 名の委員からなる検討委員会を設置し、5 月、10 月及び 2 月に 3 回の委員会を開催した。

(a) 第 1 回検討委員会開催（2018 年 5 月 30 日）

第 1 回検討委員会では、平成 30 年度事業に関する概要説明を行い、本年度の事業実施スケジュール及び事業実施方針について承認された。また、本年度の協力活動の推進について、プライオリティ及び協力活動の選定についての基本方針が承認された。

(b) 第 2 回検討委員会開催（2018 年 10 月 18 日）

第 2 回検討委員会では、東アジア植物品種保護フォーラム第 11 回会合と国際セミナー、各国における協力活動実施、2019 年以降の EAPVP フォーラム年次会合の開催国（中国）についての報告を行い、今後の協力活動の実施方針について、承認が得られた。

(c) 第 3 回検討委員会開催（2018 年 2 月 14 日）

第 3 回検討委員会では、本年度の協力活動の実施についての報告及び評価を行い、中国及び韓国からの 10 年戦略ならびに実施規則についての修正案について協議した。今後の EAPVP フォーラムの展開方向について検討が行われた。

<事業実施スケジュール>

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1)フォーラム本会合の開催				<div>本</div>								
(2)協力活動の推進												
・意識啓発								★				
・審査技術研修			★						★			
・リーガルコンサル コンサルテーション				★								
(3)ホームページの 運営管理	<div></div>											
(4)検討委員会の開催	<div>1</div>					<div>2</div>				<div>3</div>		



東アジア植物品種保護フォーラム第11回会合 日程

**11<sup>th</sup> East Asia Plant Variety Protection Forum Meeting Program**

Date: 1 August 2018 from 07:30-17:15

Venue: Department of Agricultural Research, Nay Pyi Taw, Myanmar

Working Language: English

Participant: Delegations of EAPVP Forum member countries, UPOV and guests

Program:

8.30-9.00	<b>Registration</b>
9.00	<b>Opening the meeting</b>
9.00-9.10	<b>Welcome remarks</b> by Mr. George Y. Culaste, OIC-Director, Bureau of Plant Industry and Acting Registrar, Plant Variety Protection Office, Philippines
9.10-9.20	<b>Message</b> by Mr. Yuichi Fujita, Director, Intellectual Property Division, MAFF, Japan
9.20-9.30	<b>Message</b> by Mr. Peter Button, Vice Secretary-General, UPOV
9.30-9.50	<b>Introduction of participants</b>
9.50-10.20	<b>Photo session &amp; break</b>
10.20-10.30	<b>Adoption of the agenda</b>
10.30-11.00	<b>Report on recent development of UPOV</b> by Mr. Tomochika Motomura, Technical/Regional Officer (Asia), UPOV
11.00-11.30	<b>Adoption of the Draft Rule of Procedure of the EAPVP Forum</b>
11.30-12.20	<b>Adoption of the Draft Common Direction of 10-Year Strategic Plan</b>
12.20-13.30	<b>Lunch</b>
13.30-15.00	<b>Presentations on the Individual Implementing Strategies of the 10-Year Strategic Plan (with Proposals of national-specific Cooperation Activities in 2018, if any)</b>
15.00-15.30	<b>Break</b>
15.30-15.45	<b>Presentation on the Proposal(s) for the Regional Cooperation Activities</b>
15.45-16.15	<b>Adoption of the list of the Cooperation Activities in 2018</b>
16.15-16.30	<b>Report of situation in the ASEAN Ministers Meeting on Agriculture and Forestry and the Ministers of Agriculture of the People's Republic of China, Japan, and the Republic of Korea(AMAF Plus Three) concerning the EAPVP Forum</b>
16.30-16.45	<b>Report of situation in the ASEAN Ministers Meeting on Agriculture and Forestry (AMAF) concerning the EAPVP Forum</b>
16.45-16.55	<b>Host country for the 12th EAPVP Forum Annual Meeting</b>
16.55-17.10	<b>Break</b>
17.10-17.20	<b>Other matters</b> - Report of EAPVP Forum Logo
17.20-17.40	<b>Adoption of the report of the meeting</b>
17.40	<b>Closing of the meeting</b>

**アジア植物品種保護フォーラム第 11 回会合参加者リスト**  
**(2018 年 8 月 1 日 フィリピン マンティンルパ市)**

国名	氏名		役職	所属組織
ブルネイ	Shahrinah Md Yusof Khan	Ms.	Deputy Registrar, Brunei Intellectual Property Office	Ministry of Energy & Industry
カンボジア	Phe Chantravuth	Mr.	Director, Department of Industrial Property	Ministry of Industry and Handicraft
	Sao Chesda	Mr.	Deputy Director, Department of Horticulture and Subsidiary crop, General Directorate of Agriculture	Ministry of Agriculture Forestry and Fisheries(MAFF)
中国	Wang Ran	Ms.	Principal Staff Member	Ministry of Agriculture and Rural Affairs
	DENG Hua	Dr. (Ms.)	Assistant Professor	Chinese Academy of Forestry
	Yang Yang	Ms.	Senior Examiner, Development Center of Science and Technology	Ministry of Agriculture and Rural Affairs
	Qi Wang	Mr.	Director, Division of PVP, Office of Protection of New Varieties of Plants	State Forestry Administration
	Zhang Chuanhong	Dr. (Mrs.)	Associate Research Professor, Research Institute of Forestry	Chinese Academy of Forestry
	Zheng Yongqi	Dr. (Mr.)	Research Professor, Research Institute of Forestry	Chinese Academy of Forestry
インドネシア	Nurdini Khadijah	Mrs.	PVP examiner/ Head of DUS testing Stasion Manoko	Center for Plant Variety Protection and Agriculture Permits, Ministry of
	Indirawati Sintya Dewi	Mrs.	Head of Sub Division Cooperation and Publication, Center for Plant Variety Protection and Agriculture	Ministry of Agriculture
	Erizal Jamal	Dr. (Mr.)	Director, Center for Plant Variety Protection and Agriculture Permits	Ministry of Agriculture
韓国	Geum, Gyeong-Yeon	Mr.	Deputy Director	Korea Seed & Variety Service
	Choi, Jun Hwan	Mr.	DUS Expert	Korea Seed & Variety Service
ラオス	Vanthieng Phommason	Mr.	Deputy Director of Agronomy Management Division	Department of Agriculture, Ministry of Agriculture and Forestry
マレーシア	Sri Ikarostika Rahayu Muhammad Ghazi	Mrs.	Deputy Director, Crop Quality Control Division	Department of Agriculture
	Azidah Asbhy Buyong	Ms.	Assistant Director, Crop Quality Control Division	Department of Agriculture
ミャンマー	Tun Shwe	Dr.	Director, Department of Agricultural Research	Ministry of Agriculture, Livestock and Irrigation
	Pa Pa Win	Dr.	PVP office, Department of Agricultural Research	Ministry of Agriculture, Livestock and Irrigation
フィリピン	George Y. Culaste	Mr.	OIC-Director, Bureau of Plant Industry, Acting Registrar	Plant Variety Protection Office
	Elvira D. Morales	Ms.	Head Secretariat	Bureau of Plant Industry-Plant Variety Protection Office
タイ	Thidakoon Saenudom	Ms.	Director, Plant Variety Protection Research Group, PVPO	Department of Agriculture, Ministry of Agriculture and Corporatives
	Paniphat Kritsmak	Mr.	Agricultural Research Officer	Department of Agriculture, Ministry of Agriculture and Corporatives
	Pan Pankhao	Mr.	Agricultural Research Officer	Department of Agriculture, Ministry of Agriculture and Corporatives
	Wasana Mungkhung	Ms.	Agricultural Research Officer	Department of Agriculture, Ministry of Agriculture and Corporatives
ベトナム	Nguyen Thanh Minh	Dr.	Director, Plant Variety Protection Office (PVPO), Department of Crop Production(DCP)	Ministry of Agriculture and Rural Development (MARD)
	Pham Thai Ha	Ms.	Officer, Plant Variety Protection Office (PVPO), Department of Crop Production(DCP)	Ministry of Agriculture and Rural Development (MARD)
日本	Yuichi Fujita	Mr.	Director, Intellectual Property Division	Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
	Atsuhiko Meno	Mr.	Senior Advisor, Intellectual Property Division Food Industry Affairs Bureau	Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
	Manabu Suzuki	Mr.	Deputy Director, Intellectual Property Division Food Industry Affairs Bureau	Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
	Hirofumi Kawano	Mr.	Intellectual Property Division Food Industry Affairs Bureau	Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

## 【ゲスト】

UPOV	Peter Button	Mr.	Vice Secretary-General	UPOV
	Tomochika Motomura	Mr.	Technical/Regional Officer (Asia)	UPOV
CPVO	Francesco Mattina	Mr.	Vice President	Community Plant Variety Office
Naktuinbouw	Bert Scholte	Mr.	Head of Department, Variety Testing Department	Naktuinbouw
GNIS	Francois Burgaud	Mr.	Director of External Relations	GNIS
日本大使館	Tetsuharu Mori	Mr.	First Secretary (Agriculture Attaché)	Embassy of Japan

## 【事務局】

JATAFF	Akira Nagata	Mr.	General Manager, Innovation Division	JATAFF
JATAFF	Ayako Sato	Ms.	Staff	JATAFF

## 第 11 回東アジア植物品種保護フォーラム年次会合報告概要

開催日：平成 30 年 8 月 1 日（木）

開催場所：Vivere Hotel & Resort（フィリピン、ムンティニルパ市）

出席者：東アジア植物品種保護フォーラムメンバー国 12 か国の代表

ゲスト：UPOV、CPVO、GNIS、Naktuinbouw 他

議長：Mr. George Y. Culaste 農業部植物産業局長

共同議長：米野篤廣 農林水産省食料産業局知的財産課知的財産情報分析官

議事：

1. 挨拶 Mr. George Y. Culaste 農業部植物産業局長  
藤田裕一 農林水産省食料産業局知的財産課種苗室長  
Mr. Peter Button UPOV 事務局次長
2. アジェンダの採択
3. UPOV より現況報告
4. 東アジア植物品種保護フォーラム運営規則の採択  
提案された運営規則案が採択された。但し、中国、韓国から 6 か月以内に修正案の提出があった場合は、各フォーラムメンバーに回付され、コンセンサスによる修正を視野に議論される。
5. 東アジア植物品種保護フォーラム 10 年戦略共通方針の採択  
提案された 10 年戦略案が採択された。但し、中国、韓国から 6 か月以内に修正案の提出があった場合は、各フォーラムメンバーに回付され、コンセンサスによる修正を視野に議論される。
6. 各メンバー国より 10 年戦略の共通方針を踏まえた各国実施戦略、協力活動提案を発表
7. 地域協力活動（日越共同提案のパイロットプロジェクト）の提案
8. 2018-2019 年協力活動を採択
  - ①ラオス 意識啓発セミナー（2018 年 12 月）
  - ②マレーシア UPOV によるリーガルコンサルテーション（2018 年 8 月）
  - ③ミャンマー 主要作物のデータベース構築ワークショップ&DUS テスト研修（2018 年 12 月～2019 年 2 月）
  - ④フィリピン 国際セミナーのフォローアップ&DUS テスト研修（2019 年 5 月）
  - ⑤ベトナム及び日本 地域品種保護メカニズムの構築に向けたパイロットプロジェクト  
フェーズ 1（2018-2021 年）：各国の出願・審査手順、審査ガイドラインを調和
9. AMAF+3 に関する事項の報告
10. AMAF に関する事項の報告
11. 第 12 回本会合ホスト国は中国、2019 年 4 月 23 日～25 日に北京での開催について合意
12. EAPVP フォーラムのロゴ及び使用ガイドラインを合意

※英文の報告書はウェブサイトに掲載：[http://eapvp.org/uploads/EAPVPF\\_11\\_10.pdf](http://eapvp.org/uploads/EAPVPF_11_10.pdf)

## UPOV 条約にもとづく植物品種保護の国際セミナー 報告

日時：2018 年 8 月 2 日（木） 1 日間

場所：Vivere Hotel and Resorts（フィリピン マンティンルパ市）

主催：フィリピン農業部植物産業局

共催：UPOV、農林水産省

出席者：東アジア植物品種保護フォーラムメンバー国 12 か国の代表、フィリピン政府関係者、  
研究機関、種苗会社の代表者等

講師：UPOV、CPVO、Naktuinbouw、GNIS、ベトナム農業農村開発省、農林水産省の代表者、  
ブルネイエネルギー産業省、ミャンマー農業家畜灌漑省、マレーシア農業部、フィリピン  
種苗協会の代表者

プログラム：

**8.30-9.00 Session I: Opening Program**

Emcee: Ms. Cecilia Mallari

**9.00-9.20 Welcome and Opening**

*Dr. Lorna Herradura, Associate Registrar, Plant Variety Protection Office, Bureau of Plant Industry, Department of Agriculture, Philippines*

*Mr. Peter Button, Vice Secretary-General, International Union for the Protection of New Varieties of Plants (UPOV)*

*Mr. Yuichi Fujita, Director, Plant Variety Protection Office, Intellectual Property Division, Food Industry Affairs Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) Japan*

**9.30-10.00 Keynote speech**

**“Impact of PVP and UPOV membership on the development of agriculture”**

*Mr. Tomochika Motomura, Technical/Regional Officer (Asia), International Union for the Protection of New Varieties of Plants (UPOV)*

**10.00-10.30 Photo Session/ Coffee Break**

**Session II: Experience in UPOV Members**

*Moderator: Mr. Danilo T. Dannug*

**10.30-11.00 Benefit of common regional Plant Variety Protection system**

*Mr. Francesco Mattina, Vice President, Community Plant Variety Office (CPVO)*

**11.00-11.20 Impact of PVP on agriculture in the Netherlands**

*Mr. Bert Scholte, Head, Variety Testing Department, Naktuinbouw, Netherlands*

**11.20-11.40 Impact of Plant Variety Protection in France**

11.40-12.00	<b>Impact and Benefit of PVP system in Japan</b> <i>Mr. Atsuhiko Meno, Senior Advisor, Intellectual Property Division, Food Industry Affairs Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF), Japan</i>
12.00-13.00	<b>Lunch</b>
13.00-13.20	<b>Impact of PVP/UPOV system on VN's Agriculture</b> <i>Dr. Nguyen Thanh Minh, Director, Plant Variety Protection Office, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development, Vietnam</i>
	<b>Session III: Expectations and the way to UPOV Members</b> <i>Moderator: Ms. Elvira D. Morales</i>
13.20-13.40	<b>PVP implementation under the cooperation with UPOV member</b> <i>Ms. Shahrinah Yosof Khan, Deputy Registrar, Brunei Intellectual Property Office, Ministry of Energy and Industry, Brunei</i>
13.40-14.00	<b>Expectation of PVP in line with UPOV system in Myanmar</b> <i>Dr. Pa Pa Win, PVP Office, Department of Agricultural Research, Ministry of Agriculture, Livestock and Irrigation, Myanmar</i>
14.00-14.20	<b>Benefits of Plant Variety Protection for the Philippine Plant Breeders'</b> <i>Dr. Mary Ann P. Sayoc, President, Philippine Seed Industry Association</i>
14.20-14.50	<b>Coffee Break</b>
14.50-15.10	<b>Malaysia's Expectation on Harmonization of PVP System in line with UPOV System</b> <i>Ms. Sri Ikarostika Rahayu Binti Muhammad Ghazi, Deputy Director, Crop Quality Control Division, Department of Agriculture, Malaysia</i>
	<b>Session IV: Q&amp;A and Closing</b> <i>Moderator: Dr. Herminigilda A. Gabertan</i>
15.10-15.45	<b>Q &amp; A Session</b>
15.45-16.00	<b>Closing remarks</b> <i>Dr. Pompe Sta. Cruz, Director of the Institute of Plant Breeding, University of the Philippines Los Banos, a member of the Philippine Plant Variety Protection Board</i>



## 東アジア植物品種保護フォーラム実施規則

**THE RULE OF PROCEDURE  
FOR THE EAST ASIA PLANT VARIETY PROTECTION FORUM**

The EAPVPF Forum adopted the Rule of the Procedure for the East Asia Plant Variety Protection Forum at its 11<sup>th</sup> EAPVP Forum Annual Meeting as follows:

## **1. Purpose of this Document**

The “Guideline for Operation of the East Asia Plant Variety Protection Forum (hereinafter referred to as the “Guideline”)” approved by the 1st Meeting of the Forum on 23 July 2008 provides background, objectives, activities and framework of the East Asia Plant Variety Protection Forum (hereinafter referred to as the “Forum”). In order to promote plant variety protection in accordance with the UPOV Convention in the Forum based on the 10-Year Strategic Plan and to demarcate the objectives/activities of the Forum and the administrative procedure to operate the Forum, the Forum has revised the current Guideline and adopted as the “Rule of Procedure for the East Asia Plant Variety Protection Forum” (hereinafter referred to as the “ROP”).

The ROP is intended to assist all members and guests of the Forum to implement cooperation activities and other relative activities under the Forum as well as to operate annual Meetings of the Forum. The ROP is meant to apply generally to all future activities in the Forum. It is recognized, however, that different contexts and situations will require different responses and adaptations.

The Forum’s cooperation activities proposed by the members each year, which require financial support in particular, need to be in line with the Common Direction of the 10-Year Strategic Plan with a view to streamlining the Forum’s cooperation activities toward further harmonization and/or integrity of the PVP system in East Asian region.

## **2. Framework of the Forum**

### **2.1 Members and Guests**

- Members of the Forum are Brunei Darussalam, Cambodia, China, Indonesia, Japan, Lao People’s Democratic Republic, Malaysia, Myanmar, Philippines, Republic of Korea, Singapore, Thailand and Viet Nam.
- The UPOV Office ,the UPOV members and the ASEAN Secretariat willing to participate in the Forum are invited as the guests.
- Any guests are allowed to express their views and the comments with the consent of the all delegates of the participating member countries.

## **2.2 The Meeting of the Forum**

- The Meeting of the Forum will be held annually. The annual Meeting of the Forum is chaired by the host country. The host country for the next annual Meeting of the Forum will be decided from the willing member countries at the annual Meeting of the Forum.
- English is the official language of the Forum.
- The host country should set up the Secretariat which is responsible for organizing the annual Meeting of the Forum, dissemination and exchange of the information related to the Forum, and preparation of the Forum work report during its term.
- The Secretariat needs to succeed its responsibilities to the next host country. The responsibilities of the Secretariat will be taken over at the time of the end of the annual Meeting of the Forum.
- Each member country would set up a Liaison Office to be responsible for the communication on Forum affairs and information exchange.

## **2.3 Planning and Implementation of the Forum Activities**

- Member country is expected, on each country's initiative, to plan and implement activities based on Individual Implementing Strategy while placing priorities on those activities in line with the Common direction of the 10-Year Strategic Plan.
- Member countries can receive support from donor(s) in organizing the Forum and implementing relevant cooperative activities, which may be subject to the consultation with the donor(s) followed by the discussion and adoption at the annual Meetings of the Forum.
- It should be emphasized that any activities under the Forum will be carried out based on the autonomy of member countries, and will be promoted mutual contributions by member countries in each field where they possess an advantage.
- The official website of the Forum is technically supported by Japan and the content of the website is jointly managed by all member countries.
- The UPOV Office extends assistance to the Forum activities under the cooperative framework of the Government of Japan and in accordance with UPOV's priorities

## **3. Reporting and Communications**

- Member countries are encouraged to report their cooperative activities after their implementation as well as during the activities to share those experiences and expand those activities in the member countries in a synergistic manner.
- All members are encouraged to plan and implement their activities reflecting information shared by other countries under the Forum activities.

## **4. Revision of the ROP**

- The revision of the ROP may be raised by any member countries and should be adopted by consensus at the Meeting of the Forum.

## 東アジア植物品種保護フォーラム 10 年戦略

**10-YEAR STRATEGIC PLAN OF THE EAPVP FORUM (2018-2027)**

The EAPVPF Forum,

- *Recalling* the 10<sup>th</sup> EAPVP Forum annual Meeting held in Nay Pyi Taw on 11 September 2017 adopted to discuss and prepare the next 10 years plan at the 11<sup>th</sup> Forum annual Meeting.
- *Reaffirming* enhanced technical capacity of each country including the DUS examination during the past decade thanks to series of cooperation activities under the Forum. Also recognizing that DUS test stations have been newly established or strengthened in some member countries.
- *Recognizing* that the DUS test guideline for tropical plant discussed under the EAPVP activities, and was considered in the discussion in UPOV Technical Working Parties (TWPs) which have served to provide detailed practical guidance for the harmonized examination of DUS testing.
- *Considering* harmonization of the PVP systems in the region, although some positive movement/development towards becoming UPOV member in some EAPVP member countries appears, further harmonization or integrity of the PVP system in East Asian region should be considered.
- *Assessing* the result of consecutive activities of information exchanges and public awareness, further region-specific programs in East Asia region in consistent with UPOV Convention that has function to encourage non-UPOV members in EAPVP Forum to join to the UPOV membership should be encouraged.
- *Noting* different situation and concerns of each Forum member country surrounding PVP as ever discussion in the EAPVP Forum.

adopted at its 11<sup>th</sup> EAPVP Forum annual Meeting as follows:

## 1. Common Direction

Composition of the Common direction is as follows:

- (a) **“Long-term direction”** as the Forum’s long-term direction reflecting its interests

*Establish effective PVP systems consistent with the 1991 Act of the UPOV Convention (hereinafter referred to as the “UPOV Convention”) among Forum members towards achieving all Forum members’ membership of UPOV, as a foundation for building an efficient and cooperative regional PVP mechanism which encourages the development of new plant varieties in the East Asian region in order to contribute to developing sustainable agriculture and achieving food security*

- (b) **“Objectives”** as Forum’s direct goals to be achieved over the next 10 years in Common direction

- **Objective1:**

*Strengthen national PVP system consistent with the UPOV Convention to encourage investment in plant breeding*

- **Objective2:**

*Build a regionally harmonized mechanism for application and examination procedures under the UPOV Convention, encouraging mutual acceptance of DUS test reports towards an efficient and cooperative PVP system in the region for breeders*

- (c) **“Core activities”** as prioritized activities to achieve the Objective1 and Objective2, national-specific activities and regional cooperation activities, are given, respectively, as follows:

- **National-specific activities** to achieve Objective 1, which will be implemented according to development of each Forum member’s PVP system consistent with the UPOV Convention
  - i. *Develop national PVP laws and regulations, with the assistance of the Office of UPOV<sup>1</sup>*

---

<sup>1</sup> The Forum member who wishes to implement the activities requires an official request to the Office of UPOV for advice and assistance according to the 1991 Act of the UPOV Convention.

- ii. *Establish/strengthen national administrative procedures for implementing PVP system from filing of application to granting rights*
- iii. *Capacity building for examination of applications*
- iv. *Develop DUS test guidelines*
- v. *Awareness raising on UPOV system for relevant officers, policy makers and stakeholders (better understanding of UPOV system and its benefits, etc.)*
- vi. *Strengthen private-public partnership to foster effective PVP system*

- ***Regional cooperation activities to achieve Objective 2***

- i. *Elaborate common test guidelines consistent with the UPOV system*
- ii. *Synthesize application form and examination procedure*
- iii. *Cooperate on trainings and exchange of experience on PVP administration, DUS examination, etc.*
- iv. *Share best practices for effective enforcement*

*The regional cooperation activities would be implemented by plural/whole of Forum members in a cooperative and effective manner*

## **2. Individual Implementing Strategy**

Each Forum member is requested to produce an Individual Implementing Strategic Plan as its national-level strategy which reflects the Common direction mentioned above in 1. The Individual Implementing Strategy includes national-specific activities taking into account each Forum member's individual circumstances. An Individual Implementing Strategy may also include regional cooperation activities. The Forum members can update its Individual Implementing Strategy on their accord periodically, and should share with the Forum member each time it happens.

The Plan includes:

- i. *National goal (for next 10 years)*
- ii. *Objectives (with analysis of challenges (for next 3 years)*
- iii. *Planned activities (for next 3 years)*
- iv. *Roadmap*



## 採択された2018-2019年の協力活動及び実施スケジュール

1)担当部署、2)開催地、3)参加者概要、4)派遣講師等

項目	2018						2019			実施要領
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①ラオス ・UPOV条約にもとづく植物品種保護の国内啓発セミナー										1)農林省農業局(ラオス) 2)ラオス ビエンチャン 3)ラオス農林省、工業省、研究機関、大学、種苗関連企業等 4)UPOV、農林水産省、ミャンマー・ベトナムの専門家
②マレーシア ・リーガルコンサルテーション ・2018年8月										1)農業・農業関連工業省農業局(マレーシア) 2)マレーシアセランゴール州バンギ 3)マレーシア法律起草チーム、農業・農業関連産業省等関連省庁 4)UPOV
③ミャンマー ・主要作物の標準品種データベース構築ワークショップ ・2018年12月～2019年2月の間の3日間										1)農業畜産灌漑省農業研究局(ミャンマー) 2)農業畜産灌漑省農業研究局 3)PVPスタッフ、技術スタッフ 4)日本またはメンバー国の専門家
④フィリピン ・国際セミナーのフォローアップ及びDUSテスト研修 ・2019年5月		※フィリピン側の申し出により、取り下げられた								1)農業省植物産業界局(フィリピン) 2)農業省植物産業界局 3)PVP専門家、関連省庁専門家、育成者、研究者 4)UPOV、日本、メンバー国専門家
⑤ベトナム・日本 ・地域協力活動パイロットプロジェクト会合 ・フェーズ I : 2018年～2021年										1)農業農村開発省(ベトナム) 2)ベトナム ハノイ他 3)UPOV、ベトナム・マレーシア・ミャンマーの担当者・農林水産省 4)なし
第10回本会合で採択された活動										
インドネシア ・パレイシヨのDUSテスト研修										1) 農業省植物品種・農業認可センター(インドネシア) 2) 西ジャワ、マノコ・レンパンのDUSテストステーション 3) インドネシアのPVP試験官及び技術スタッフ 4) ヨーロッパからの専門家を希望



## 地域協力活動案（ベトナムにおけるパイロットプロジェクト）

**PROPOSAL OF COOPERATION ACTIVITY (REGIONAL COOPERATION ACTIVITY)****Pilot project for building regional harmonized PVP mechanism****1. Background**

Plant Variety Protection (PVP) system encourages breeding and introduction of new plant varieties by providing protection of the Right for Plant Breeders, and brings benefit for society.

Asian especially ASEAN where it is almost Agriculture countries with plentiful of plant genetic recourse, New Plant Varieties is significant contributing to the development of agriculture for those countries.

For the implementation of PVP in the region effectively, since East Asian Plant Variety Protection Forum (EAPVPF) established in 2007, Viet Nam and Japan have been supporting harmonization PVP systems in the region as key Members of the International Union for the Protection of New Varieties of Plants (UPOV).

Further, building a harmonized effective regional PVP system/mechanism in the region can be one of major topics on the activities of the Forum. This can reduce the burden of the PVP authority in each country in conducting examination of PVP applications by mutual cooperation and sharing resources among UPOV members, which would demonstrate benefit to become UPOV members, and that inspires non-UPOV nations to become UPOV members. In addition, such a regional PVP system/mechanism can reduce the expenditures (time and finance) on the introduction of prominent varieties can be reduced, which gives more benefits not only for Breeders but also for consumers.

Reflecting the Common Direction of the 10-YSP with the Objective 1 and Objective 2, Vietnam and Japan agreed to propose a Pilot project for regional cooperation activity to strengthen the harmonization regional PVP system.

**2. Duration of the Program**

The program proposed to implement in two phases by total 5 years as follow:

Phase 1 from 2018 to 2021 and;

Phase 2 from 2022 to 2023

**3. Expected outcome of the proposed program**

The Pilot Project is a Regional cooperation activity to achieve Objective 2 of the Common Direction of the 10-Year Strategic Plan, i.e.:

*Build a regionally harmonized mechanism for application and examination procedures under the UPOV Convention, encouraging mutual acceptance of DUS test reports towards an efficient and cooperative PVP system in the region for breeders.*

**3.1 Phase 1 (2018 – 2021)**

Develop a model procedure from filing to the grant of plant breeders' right as a foundation of regional harmonized mechanism in line the UPOV Convention.

The model procedure will be consisted of a unified application form, harmonized DUS test proceedings with Test Guidelines and mutual acceptance of the DUS Test results and administrative proceedings.

### **3.2 Phase 2 (2022 – 2023)**

A regionally harmonized PVP mechanism for UPOV members of the EAPVP Forum is established together with National PVPOs.

## **4. Proposed activities in details**

### **4.1 In the period from 2018 to 2021 (Phase 1)**

4.1.1 To call participants and provisional participants of the pilot project adding to Vietnam and Japan. Participants and provisional participants will be selected as described in 6. (mid of 2018).

4.1.2 To harmonize the administrative procedure from filing to the grant of plant breeders' right, with application form, relevant papers on the procedures, utilizing tools and documents prepared by the UPOV including UPOV Model Form, UPOV PRISMA and UPOV Test Guideline as options.

\*National application form and Test Guideline will be harmonized as much as possible.

4.1.3 To demonstrate model examination proceedings (DUS test) at selected examination centers (probably in Vietnam) applied in plural countries. DUS test will be operated with presence of applied countries for some selected crops including rice and maize.

4.1.4 To discuss possibility to register examined varieties in applied third countries (2020)

4.1.5 To discuss possibility of utilization of a demonstrated model procedure for unification of proceedings (2020)

### **4.2 For the period from 2022 to 2023 (Phase 2)**

Establish a regionally harmonized PVP mechanism under the UPOV Convention for UPOV members of the EAPVP Forum. The crops will start from rice and maize.

## **5. Proposed venue**

### **Phase 1**

Vietnamese PVP Office and DUS Testing Agencies in Vietnam (for food crops and some other crops)

### **Phase 2**

DUS Testing agencies of other Members for other crops (based on the ability of implementation of DUS)

## **6. Participants**

6.1 Participating countries will be selected by Vietnam and Japan from UPOV members of the EAPVP Forum.

6.2 The EAPVP member countries which have officially committed to join UPOV (Brunei Darussalam, Myanmar and Malaysia) can be selected, upon their request, to participate the Phase 1 of the pilot project as provisional participants.

6.3 The Progress of the project will be reported to the EAPVP Forum's Annual Meeting.

## **7. Budget:**

- Vietnam: in-kind contribution (e.g. provision of facilities for the meetings, DUS testing centers, human resource)
- Japan and/or other interested donors: Operation cost (some contribution may be covered by Japan's Funds-in-Trust to UPOV)

\*Note: Detailed will be consulted among Vietnam, Japan, and donors.

## **8. Contact Point**

- Nguyen Thanh Minh (Plant Variety Protection Division, MARD, Vietnam)

e-mail: minhnt.nn@mard.gov.vn

- Atsuhiko Meno (PVP Office, MAFF, Japan)

e-mail: Atsuhiko\_meno150@maff.go.jp

(End of document)



⑨第11回本会合・国際セミナー写真

【第11回本会合】



【国際セミナー】





## (a)インドネシア バレイショ DUS テスト研修 日程

NO.	TIME FRAME	ACTIVITY	SPEAKER
<b>Tuesday, 24 July 2018</b>			
1	07.30 - 12.00 WIB	Leaving to Manoko Station from PVP Office	Committee
2	12.00 - 13.00 WIB	Lunch break	Committee
3	13.00- 14.00 WIB	Registration	Committee
4	14.00 - 14.30 WIB	Opening Ceremony	PVP Director
5	14.30 - 16.00 WIB	DUS Training for Potato in general (+ question and answer)	Expert from Naktuinbouw
<b>Wednesday, 25 July 2018</b>			
1	08.00 - 11.30 WIB	<b>Practice at field</b> Observation on potato characteristic at field on vegetative characteristics (plant, stem, flower and leaves) + taking photo's (lead by Potato expert)	Participants in group
2	11.30 - 13.00 WIB	Lunch break and Pray	Committee
3	13.00 - 15.00 WIB	Explanation on potato light sprout characteristics (+ question and answer)	Expert from Naktuinbouw
4	15.00 - 15.30 WIB	Coffe break + pray	Committee
5	15.30 - 16.30 WIB	<b>Practice at Laboratorium</b> Observation on potato light sprout characteristics (lead by Potato expert) + taking photo's	Participants in group
<b>Thursday, 26 July 2018</b>			
1	07.30 - 11.30 WIB	<b>Practice at field</b> Observation on potato characteristic at field on generative characteristics (commercial tuber harvest and 10 days after sunlight exposed) + taking photo's (lead by Potato expert)	Participants in group
2	11.30 - 13.00 WIB	Lunch break and Pray	Committee
3	13.00 - 15.00 WIB	Making DUS testing report's	Participants in group
4	15.00 - 15.30 WIB	Coffe break + pray	Committee
5	15.30 - 16.30 WIB	Presentation of DUS testing report for group 1	Review by Expert from Naktuinbouw

<b>Friday, 27 July 2018</b>			
<b>1</b>	08.00 - 09.00 WIB	Presentation of DUS testing report for group 2	Review by Expert from Naktuinbouw
<b>2</b>	09.00 - 10.00 WIB	Presentation of DUS testing report for group 3	Review by Expert from Naktuinbouw
<b>3</b>	10.00 - 10.15 WIB	Coffe break	Commitee
<b>4</b>	10.15 - 11.15 WIB	Presentation of DUS testing report for group 4	Review by Expert from Naktuinbouw
<b>5</b>	11.15 - 13.00 WIB	Lunch break and Jumah Pray	
<b>6</b>	13.00 - 14.00 WIB	Presentation of DUS testing report for group 5	Review by Expert from Naktuinbouw
<b>7</b>	14.00 - 15.00 WIB	Over all discussion (question and answer + suggestion for DUS testing Potato manual book)	Review by Expert from Naktuinbouw
<b>8</b>	15.00 - 15.30 WIB	Evaluation and closing	Commitee

## (b) 参加者リスト

no.	Name of Participant	Name of Institutional	Professional
1	Ir. Syalmiati, MM.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner/ Coordinator for PVP Examiner
2	Desi Gunawan, SP.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner/ Deputy Coordinator for PVP Examiner
3	Nurdini Khadjjah, SP.,MP.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner/ Head of Manoko DUS Testing Station
4	Very Andriani, SP. MSi.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner
5	Nia Susilowardani, SP. MSi.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner
6	Isma Naberisa Tarigan, SP. MSi.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner
7	Nani Suwarni, SP, MSi	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner
8	Lia Amalia, SP., MP.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner
9	Nina Agusti W, SP. MP.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner
10	Ristatina I.D, SP.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner
11	Susilowati, SP.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner
12	Suryaningrum S, SH. MSi.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner
13	Nurul Istiqomah, SP.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner
14	Adela Novisa Charaswati, S.Si	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	PVP Examiner
15	Saefuloh, SP.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Coordination in Manoko DUS Testing Station
16	Dadan	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
17	Haris Akbar	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
18	Abdul Rohim	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
19	Adam Hidayat	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
20	Sandi Sopandi	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
21	Rasyid	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
22	Hari Bagja	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
23	Ujang Cucu	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
24	Ryan Lukmana	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
25	Cucu Suhendi	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
26	Wawan	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
27	Icep	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
28	Ibu Een	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
29	Ibu Nani.S	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
30	Ibu Yunengsih	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
31	Ibu Arum	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
32	Ibu Cucun	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
33	Ibu Enung Juarsih	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in Manoko DUS Testing Station
34	Dr. Ir. Neni Rostini	Lecturer of Padjadjaran University	Members of the Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits Commission
35	Nunik Jumiaty, SP.	Research of Vegetable Crops, Ministry of Agriculture Indonesia	Breeder
36		CV. Bumi Agrotech	Potato Researcher/ Breeder
37	Diky Indrawibawa	CV. Bumi Agrotech	Potato Researcher/ Breeder
38	Restia SP.	Center for Plant Variety Protection and Agricultural Permits, Ministry of Agriculture Indonesia	Technical Staf in PVP division
39	Indra	Brawijaya University	undergraduated student with interesting on DUS test
40	Pradhita	Brawijaya University	undergraduated student with interesting on DUS test
41	Tasya	Brawijaya University	undergraduated student with interesting on DUS test

## (c) インドネシア バレイショ DUS テスト研修 報告概要

## 【開催日程及び開催場所】

日程：2018年7月24日（火）～27日（金）

場所：農業省 Manoko 試験場（インドネシア、レンバン）

## 【参加者】

農業省、Manoko 試験場及びその他の試験場より試験官 14 名、技術スタッフ 19 名、  
政府係者、研究機関、民間育種家等 41 名

## 【講師】

Naktuinbouw のバレイショ 専門家 2 名

## 【内容】

この研修は、第 10 回本会合にて採択された案件である。日本及び EAPVP フォーラムメンバー国にはバレイショの専門家がいないため、オランダの Naktuinbouw に講師派遣を依頼、Naktuinbouw の協力により研修が実施された。EAPVPF 事務局からの費用負担は発生していない。

インドネシアからは大変有意義な研修を実施でき、試験官並びに技術スタッフのバレイショ DUS テストに関する知識と技術向上が図れたとの報告があった。

## (d) 写真

